

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 103-0022

住 所 東京都中央区日本橋室町2丁目1-1

氏 名 三井不動産株式会社

代表取締役社長 菰田 正信

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	三井不動産株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町72-1		
該当する事業者 の要	☒ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☐ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業、物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産賃貸業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量	12,949	k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	○当社の地球温暖化対策の取組については、ホームページにて公表しています。 https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/esg_csr/?id=global

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 28,339 t-CO ₂ (調) 27,955	(実) 27,029 t-CO ₂ (調) 26,657	(実) 25,940 t-CO ₂ (調) 25,585	(実) 25,596 t-CO ₂ (調) 25,264	(実) 27,500 t-CO ₂
削減率		(実) 4.6 % (調) 4.6	(実) 8.5 % (調) 8.5	(実) 9.7 % (調) 9.6	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積		単位	t-CO ₂ /m ²	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.1257	0.1199	0.1151	0.1135	0.1219
削減率		4.6 %	8.4 %	9.7 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	全事業所で原油換算エネルギー使用量の削減ができました。またラゾーナ川崎プラザでは空調機及び冷却水ポンプのインバータ制御による効率的運用、照明のLED化工事等によりCO2排出量を基準年度比で5.3%削減することができました。その結果、全体のCO2排出量は基準年度比で4.6%削減することができました。
第2年度	夏季の外気温変動の影響による冷房負荷低減、ラゾーナ川崎プラザの大規模リニューアル工事等によりCO2排出量を基準年度比で8.5%削減することができました。
第3年度	夏季（7～9月）の猛暑影響による空調負荷増におり、ガス消費が増加したものの、ラゾーナ川崎プラザにおける照明LED化などの対策により、CO2排出量は基準年度比で9.7%削減することができました。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

全社的な目標も市内の目標と同様に、基準年度の排出量に対し原単位で年平均1%の削減を設定しています。 基準年度に対して事業所の追加変更はありませんでした。 大規模事業所での対策等により、全体のCO2排出量は基準年度比で9.7%、排出量原単位においても基準年度比で9.7%の削減率となり目標値の3%を上回る削減ができました。
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所における措置の計画 ○外部機関の利用 ○主要設備等の保安全管理 ○照明設備、給湯設備の保安全管理 ○熱源機器、照明機器、給湯設備の更新における措置 上記の他、年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl未満の事業所における措置の計画 ○主要設備等の保安全管理 ○事務所等の空気調和設備の管理 ○動力設備の運用管理 ○BEMSの活用
	第1年度	○外部機関の利用等（一部事業所） 外部機関による省エネルギー診断及び対策の立案を実施 ○主要設備の保安全管理（一部事業所） 主要設備等の管理標準の定期的見直しと改善を実施 ○照明設備の保全運用管理（一部事業所） 共用通路やエスカレータ手摺の間引き実施、共用部の照度測定実施、 照明球交換時に清掃実施 ○機器の更新時における措置（一部事業所） 駐車場照明のLED化実施 ○機器の運用管理（一部事業所） 外気冷房の積極的運用と状況に応じたこまめな管理実施
	第2年度	○外部機関の利用等（一部事業所） 外部機関による省エネルギー診断及び対策の立案を実施 ○主要設備の保安全管理（一部事業所） 主要設備等の管理標準の定期的見直しと改善を実施 ○照明設備の保全運用管理（一部事業所） 共用通路やエスカレータ手摺の間引き実施、共用部の照度測定実施、 照明球交換時に清掃実施 ○機器の更新時における措置（一部事業所） 駐車場照明のLED化実施 ○機器の運用管理（一部事業所） 外気冷房の積極的運用と状況に応じたこまめな管理実施 ○空調熱源機の運用適正化（一部事業所） 空調熱源機の増減段基準見直しによる過剰運転の防止
	第3年度	○外部機関の利用等（一部事業所） 外部機関による省エネルギー診断及び対策の立案を実施 ○主要設備の保安全管理（一部事業所） 主要設備等の管理標準の定期的見直しと改善を実施 ○照明設備の保全運用管理（一部事業所） 共用通路やエスカレータ手摺の間引き実施、共用部の照度測定実施、 照明球交換時に清掃実施 ○機器の更新時における措置（一部事業所） 館内共用部、内照式看板照明のLED化実施 ○機器の運用管理（一部事業所） 外気冷房の積極的運用と状況に応じたこまめな管理実施 ○空調熱源機の運用適正化（一部事業所） 空調熱源機の増減段管理による過剰運転の防止
自動 該中等 （第3号）	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

[illegible]

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	現状では定量化できる取り組みはありません。
第1年度	現状では定量化できる取り組みはありません。
第2年度	現状では定量化できる取り組みはありません。
第3年度	現状では定量化できる取り組みはありません。

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	(ラゾーナ川崎プラザ) ○リサイクルボックスを設置して常時エコキャンペーンの実施 ○太陽光パネル展示等のエコイベントの実施 ○衣料のリサイクルキャンペーン実施、年2回 ○ライトダウンキャンペーンに参加 ○施設スタッフのマイカー通勤を禁止し、公共交通機関のみの利用を促進 ○インフォメーションスタッフの制服にエコ素材採用
第1年度	(ラゾーナ川崎プラザ) ○リサイクルボックスを設置して常時エコキャンペーンの実施 ○太陽光パネル展示等のエコイベントの実施 ○衣料のリサイクルキャンペーン実施、年2回 ○ライトダウンキャンペーン2016に参加 ○施設スタッフのマイカー通勤を禁止し、公共交通機関のみの利用を促進 ○インフォメーションスタッフの制服にエコ素材採用
第2年度	(ラゾーナ川崎プラザ) ○リサイクルボックスを設置して常時エコキャンペーンの実施 ○衣料のリサイクルキャンペーン実施、年2回 ○ライトダウンキャンペーン2017に参加 ○施設スタッフのマイカー通勤を禁止し、公共交通機関のみの利用を促進 ○インフォメーションスタッフの制服にエコ素材採用
第3年度	(ラゾーナ川崎プラザ) ○リサイクルボックスを設置して常時エコキャンペーンの実施 ○衣料のリサイクルキャンペーン実施、年2回 ○ライトダウンキャンペーン2018に参加 ○施設スタッフのマイカー通勤を禁止し、公共交通機関のみの利用を促進 ○インフォメーションスタッフの制服にエコ素材採用

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	24,494	t-CO ₂
(調)	24,017	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガスの 排出の量
ラゾーナ川崎プラザ	幸区堀川町72-1	6911	不動産賃貸業	20,650 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガスの 排出の量
ららテラス武蔵小杉	中原区新丸子東3丁目1302番	6911	不動産賃貸業	2,176 t-CO ₂
新川崎スクエア	幸区鹿島田1丁目1番3号	6911	不動産賃貸業	1,460 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	3

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガスの 排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--